

IT子会社に立ちはだかる ビジネスKPIの壁

リコーITソリューションズ株式会社
田端 聖也

自己紹介

リコーITソリューションズ株式会社
田端 聖也 (たばた せいや)

役割

2006～ ソフトウェア開発者

2012～ プロジェクトマネージャ、企画支援

2015～ + スクラムマスター

資格

認定スクラムマスター (CSM)

認定プロダクトオーナー (CSPO)



アジャイル開発をはじめたきっかけ

- ・ 今までの開発に限界を感じ始めていた
- ・ 一緒に価値を作ることをしたい
- ・ アジャイルテーマが立ち上がると聞き、立候補

Agenda

1. タイトルに込めたおもい
2. 我々のアジャイル変遷
3. おとずれた変化
4. Be Agileであり続けるために

Agenda

1. タイトルに込めたおもい
2. 我々のアジャイル変遷
3. おとずれた変化
4. Be Agileであり続けるために

ビジネスKPI = 価値を届けられているか

従来は

ビジネス側 = 価値を考える仕事

IT側 = ものを作る仕事

●●側というのをなくして、
一緒になって価値を作り出したい。

しかし、この壁の中にもどってしまいそう、
戻ったけどまた無くしたいと思っている方々

Agenda

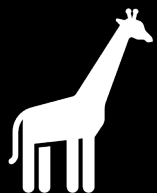
1. タイトルに込めたおもい
2. 我々のアジャイル変遷
3. おとずれた変化
4. Be Agileであり続けるために

登場人物



プロダクトオーナー（次ページ以後はPOと表記）

：販売系子会社・テーマオーナーであり施策/KPIを決める



プロダクトオーナー（次ページ以後はPOと表記）

：親会社であり・弊社への発注を行う



スクラムマスター（次ページ以後はSMと表記）

：私

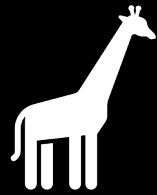


開発メンバー

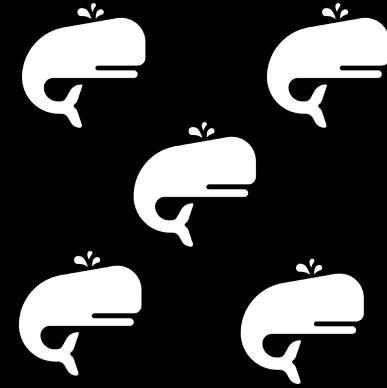
：弊社及び協力会社で構成

体制

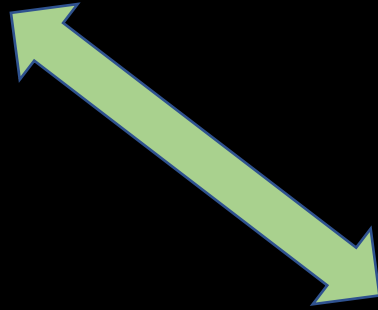
スクラムチーム



PO



開発チーム



SM



スクラムを始めた当初
(2015-2016年頃)

あがらないベロシティ

朝会が説教会

スプリントレビューがPOの説教会

振り返った結果についてもグリグリ

スプリントの前半は定時

後半は残業の嵐

リリースもないスプリント

人ありきのタスク

着手されないTryが山積み

スクラムにも慣れてきて
(2017-2018年頃)

安定したベロシティ

開発チーム主体の朝会

感謝がでる振り返り

残業ゼロ

いまでもプレミアムフライデーがある

毎スプリントリリース

誰でもいるんなタスクに挑戦

Tryもどんどん消化

若手もPOに提案

一見、うまくいってそう

スクラムチームを取り巻く
周囲に変化が

Agenda

1. タイトルに込めたおもい

2. 我々のアジャイル変遷

3 おとずれた変化

4 .Be Agileであり続けるために

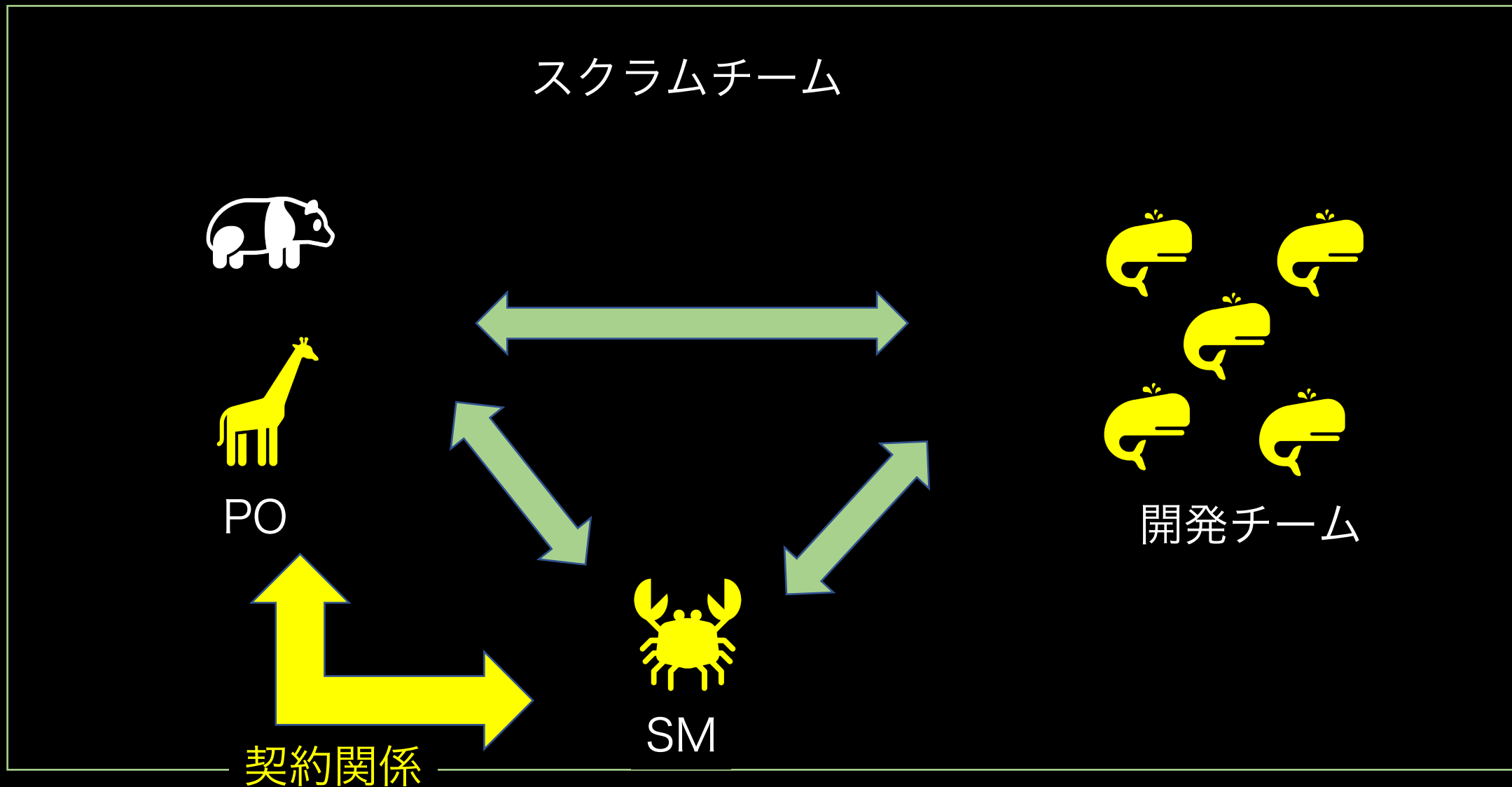
我々に起きた変化

変化1：顧客は誰か

変化2：人事異動

変化3：とりあえずだせ

再掲：体制



変化1：顧客(価値を届ける相手)は誰か

- ・ システムが大きくなるとだんだんPOへの圧が強くなる
- ・ 周囲は親会社が開発部門を管理していると思っている
- ・ マイクロマネジメントしたくなる欲求が増加
- ・ 顧客ではなく親会社に迷惑をかけないほうがよい雰囲気

<<発表時はGitのDiff画像>>

変化2：人事異動

- ・ POの上司が何度か変わる
- ・ PO自身も上司との人間関係を作る時間が必要
- ・ SM自身も熱意が必要

変化3：とりあえずだせ

機能をまにあわせるという天の声！

バックログにPOの意思がないものがのりはじめる

ほぼアウトカムゼロ

<<発表時は利用状況>>

Agileをやめて
お互いの壁の中に戻るうか

Agenda

1. タイトルに込めたおもい
2. 我々のアジャイル変遷
3. おとずれた変化
4. Be Agileであり続けるために

アジャイルでどんなことをしようと
したのか

お互いの役割を越えて
顧客に価値を届けたい

むきなおり

むきなおりとは

進むべき先を捉えて現在を正す

<<参考：カイゼン・ジャーニー>>

もう一度、スクラムチーム
全体でむきなおりを実施

むきなおりで出た言葉

無理なお願いを聞いてくれてありがとう

品質と生産性の両立について開発とP.Oと認識合わせできていない。

期待されることが多くなる＝機能も膨大になっていくので、
視野を広げて 使いやすさをPOと一緒に考えていきたい。

作ったら作りっぱなしで成果の刈り取りまで意識できていない

システムの存在自体が変わってきている。現場への
動きも変わってきている。全体として良い方向になっている。

起きた変化

POからHowを任せる発言

POとSMでのKPI検討会

POの上司から
開発メンバーへの施策説明の実施

うまくやるコツ

恥ずかしがらない

立場を抜きにして発言できる場を作る

タイミングを最大限に活用する

環境は変わる

自分たちのいる場所を
常に意識しないといつのまにか
壁の中に押し込まれてしまう

IT子会社に立ちはだかる
ビジネスKPIの壁

むきなおりをしよう

スクラムチームみんなで
我々はなぜここにいいのか話し合おう

ありがとうございました！